

2026年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年5月15日

上場会社名 KeePer 技研株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 6036 URL <https://keepergiken.co.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役会長兼CEO（氏名） 谷 好通
 問合せ先責任者（役職名） 専務取締役兼Co-COO（氏名） 鈴置 力親 (TEL) 0562-45-5777
 配当支払開始予定日 2026年5月25日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2026年6月期第3四半期の業績（2025年7月1日～2026年3月31日）

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年6月期第3四半期	18,253	5.9	4,279	△20.3	4,291	△19.9	7,631	108.5
2025年6月期第3四半期	17,242	14.1	5,370	22.2	5,357	22.0	3,660	23.0
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2026年6月期第3四半期	279.64		—					
2025年6月期第3四半期	134.11		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年6月期第3四半期	32,024	23,991	74.9
2025年6月期	24,826	18,042	72.7

(参考) 自己資本 2026年6月期第3四半期 23,991百万円 2025年6月期 18,042百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年6月期	—	0.00	—	60.00	60.00
2026年6月期	—	0.00	40.00		
2026年6月期(予想)				60.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年6月期の業績予想（2025年7月1日～2026年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,300	13.9	7,287	2.7	7,287	2.2	9,340	91.0	342.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年6月期3Q	28,280,840株	2025年6月期	28,280,840株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2026年6月期3Q	989,726株	2025年6月期	989,619株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2026年6月期3Q	27,291,168株	2025年6月期3Q	27,291,446株
------------	-------------	------------	-------------

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査 : 無
法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日において、当社が入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき策定したものであり、実際の業績等は様々な要因により予測数値より大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信 (添付資料) P 8 「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	8
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	8
2. 四半期財務諸表及び主な注記	9
(1) 四半期貸借対照表	9
(2) 四半期損益計算書	11
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	12
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	13
(収益認識関係)	13
(重要な後発事象)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間（2025年7月1日から2026年3月31日）における我が国の経済は、雇用および所得環境に緩やかな改善の動きが見られたものの、エネルギー価格や食料品を中心とした物価上昇の長期化により、実質賃金の伸び悩みが続き、消費者は節約志向を強め、支出も慎重な状況が続きました。

また、中東情勢の緊張の高まりによって、原油価格が高止まりするなど、エネルギーコストの上昇が企業活動および家計に影響を与えております。

このような環境の中、当社ではユーザーに提供するKeePerコーティングの品質の維持・向上を、これまで以上に実現していくことが、当面の業績向上のみならず、将来の発展を見据えたKeePerブランドの確立において最も重要であると考えております。

2026年6月期 第3四半期 実績

当第3四半期累計期間（2025年7月1日から2026年3月31日）におきましては、売上高182億53百万円（前年同期比5.9%増加）、営業利益42億79百万円（同20.3%減少）、四半期純利益76億31百万円（同108.5%増）となりました。

純利益が大幅に増益となったのは、当第2四半期会計期間に投資有価証券売却益として、特別利益67億62百万円を計上した影響です。

当第3四半期累計期間	実績	前年同期比
売上高	182億53百万円	5.9%増
四半期純利益	76億31百万円	108.5%増

最終的な「純利益」は特別利益の計上により大幅増益となっているのに対し、当該利益を原資とした以下の成長投資や税金等の費用が1,093百万円分発生しております。当該費用については、販管費に計上されるため、会社の成績として用いられる「営業利益」に対してマイナスの影響が出ます。

特別利益が無かった場合の営業利益を算出すると、以下の1,093百万円の費用を当事業年度の営業利益に足し戻して53億73百万円（同0.1%増）の増益となりました。

2026年6月期第2四半期	
TV番組2025年10～12月放映分	90百万円
ダイヤIIキーパー TVCM	217百万円
特別利益に係る外形標準課税の租税公課への計上分	82百万円
TOB応募に関する弁護士費用	13百万円
旧キーパーラボ市原店の移転に伴う一括減価償却費	31百万円
LABOアプリ投資	20百万円
小計	453百万円

2026年6月期第3四半期	
TV番組2026年1～3月放映分	90百万円
特別賞与の支給（会社負担の社会保険料等を含む）	470百万円
キーパー選手権販促・オートサロン出展費用	18百万円
M&A・中期経営計画作成に係る費用	10百万円
LABO新業態開発・海外出店調査費用	10百万円
世田谷店のリニューアル構想に伴う費用	35百万円
モビリティベース構想の教育訓練費	7百万円
小計	640百万円
合計	1,093百万円

【キーパーLABO運営事業】

KeePer LABO運営事業の売上高は100億26百万円(前年同期比7.1%増加)、セグメント利益は11億22百万円(同45.4%減少)となりました。

第3四半期は、1月と2月で北日本の店舗は大雪の影響で前年を大きく割り込む実績となったものの、その他のエリアは極端に降雨量が少なかったこともあり、『雨が降ると洗車をしたかのようにキレイになる』KeePerコーティングの特長が発揮されず、お客様の「とにかく、さっぱりさせたい」というニーズが高まり、洗車での来店が多く、来店台数が伸びたことで売上高の増加につながりました。そのような中、昨年から雪の影響を大きく受けていた北日本の店舗においても、ようやく3月後半から雪解けの春の需要期が始まり、現在、活況を迎えています。

各種KeePerコーティングの施工台数は、EXキーパーの施工台数が11,818台(前年比7.1%増加)と新車の納車が安定しない状況下も堅調であり、ダイヤIIキーパーに進化したダイヤモンドキーパーシリーズの施工台数においても、46,506台(前年比7.5%増加)となりました。また、フレッシュキーパー、クリスタルキーパーの施工台数は、71,485台(前年比3.0%減少)となり、各キーパーコーティングのメンテナンス類は前年比0.1%増加となりました。

その結果、当第3四半期においての総来店台数は671,702台と前年同期比で13.1%増加、平均単価は16,196円/台(前年比4.5%減)となっております。なお、今期計上の特別利益を原資とした今後の事業成長投資を実施した結果、セグメント利益は、大きく減少をしております。

また、新店オープンのペースアップによる採算性への悪影響を最小限に収める施策を講じています。現在、KeePer LABO店は新規店のペースを上げており、この4月を起点にした過去1年間で、直営店12店舗、FC店13店舗、計25店舗を出店しております。

各地域ごとの新規出店状況は以下のとおりです。

出店地域	都道府県	店舗名	運営形態
北海道	北海道	宮の沢店	直営店
	北海道	札幌インター店	FC店
	北海道	釧路店	FC店
東北	宮城県	名取店	直営店
	岩手県	盛岡店	FC店
	青森県	青森店	FC店
	宮城県	仙台錦ヶ丘店	FC店
関東	東京都	明治通り尾久店	直営店
	東京都	国分寺店	FC店
	神奈川県	大和店	FC店
	茨城県	つくば店	FC店
	群馬県	高崎店	直営店
中部	静岡県	藤枝店	直営店
	静岡県	浜松店	FC店
	愛知県	稲沢店	直営店
	愛知県	太田川店	直営店
甲信越	長野県	松本筑摩店	直営店
	長野県	長野中御所店	直営店
関西	兵庫県	芦屋店	直営店
	滋賀県	栗東店	FC店
	大阪府	枚方長尾店	FC店
	和歌山県	岩出店	直営店
中国・九州	山口県	周南店	直営店
	鹿児島県	鹿児島店	FC店
	福岡県	福岡南店	FC店

KeePer LABOは新規顧客獲得と来店客増加が、一般的な販売促進策での「集客」によって行われるのではなく、洗車やKeePerコーティングなど作業を受けたお客様のご満足が、口コミで広がって行くスタイルであり、つまり「集客」ではなく「増客」によって、非常にリピート率の高い(約87%)サービス業としての店舗ができていきます。それ故に、”昔の洗車業”のような天候によって売上が数倍も違うような安定しない運営から、来店客数が比較的安定して、かつ高単価である高収益体質のKeePer LABOの現在の姿があります。

このスタイルによる成長は、比較的時間がかかり、特に人口密度が低く、KeePer LABOの認知が低い地方では採算点を越すのに2年以上を要することもあり、特に最初の1年間では来店客数が少なく店舗が閑散として新規客が入りにくく、リピート客の蓄積が進まない状態が続き不採算を免れません。それが、ある程度(多くは1年間)の期間を過ぎて、店舗に徐々に賑わいが出ると、リピート客の蓄積も加速してやがて採算店になります。これを「2年目のジャンプ」と称していますが、依然として最初の1年間の不採算期間に課題が残っていました。

この課題を解消するために、新店ができるその地域の既存店の全てに、「〇〇店が新規オープン。〇〇エリアが〇店舗体制になり、便利になります。」との大ポスターを貼り出し、既存店に来ていた新店に近い地域にお住いのお客様に積極的に案内をしたところ、新店舗にはオープン初月から既存店のリピート客が流れて、ある程度の賑わいとなり、1年目の課題の解消になって、新店オープンのペースを上げていく事が可能になりました。

既存店から新規店に積極的に一部のお客様を誘導する事によって、一時的に近隣の既存店は5%~15%程度の客数が減ることになりますが、このことによって、予約枠に空きができ、さらに客単価アップの時間的余裕が生まれます。そして来店客数そのものも店舗運営が適正に行われていれば、1年足らずで復活して、その店舗のキャパシティ一杯の状態に戻ります。

この方法を積極的に取り始めてから、新規店舗の数が増えれば増えるほど既存店のみでの売上前年比はマイナスになる影響が宿命的にできるようになりましたが、新店数のペースアップによる採算性への悪影響を最低限に収める事と同時に、KeePerLABO全店での売り上げの増加を図ることができます。

今後の新店開発の予定

今期の新規出店は、直営店舗、FC店舗も含め30店舗を予定しており、現在まで計画通りに進捗しております。

新店の開発状況

開店済み

店舗名	所在地	オープン日	ラボ累計店舗数 ()内：直営店
盛岡店(FC)	岩手県盛岡市	2025年7月2日	157(136)※岩手県初
青森店(FC)	青森県青森市	2025年7月4日	158(136)
宮の沢店	北海道札幌市西区	2025年7月30日	159(137)
国分寺店(FC)	東京都国分寺市	2025年9月25日	160(137)
長野中御所店	長野県長野市	2025年10月1日	161(138)
大和店(FC)	神奈川県大和市	2025年10月3日	162(138)
札幌インター店(FC)	北海道札幌市白石区	2025年11月21日	163(138)
栗東店(FC)	滋賀県栗東市	2025年12月13日	164(138)
釧路店(FC)	北海道釧路市	2025年12月23日	165(138)
つくば店(FC)	茨城県つくば市	2026年1月10日	166(138)
高崎店	群馬県高崎市	2026年1月28日	167(139)
浜松店(FC)	静岡県浜松市中央区	2026年2月27日	168(139)
周南店	山口県下松市	2026年2月28日	169(140)※山口県初
仙台錦ヶ丘(FC)	宮城県仙台市青葉区	2026年3月19日	170(140)
枚方長尾店(FC)	大阪府枚方市	2026年3月20日	171(140)
岩出店	和歌山県岩出市	2026年3月28日	172(141)※和歌山県初
鹿児島店(FC)	鹿児島県鹿児島市	2026年4月4日	173(141) ※カーディーラー運営初
福岡南店(FC)	福岡県春日市	2026年4月11日	174(141)
稲沢店	愛知県稲沢市	2026年4月11日	175(142)
太田川店	愛知県東海市	2026年4月11日	176(143)

2026年4月末時点でのKeePer LABO店舗数は、直営143店舗、FC33店舗、全176店舗となりました。

今後の開店予定

店舗名 (仮称)	所在地	オープン予定日	ラボ累計店舗数 ()内：直営店
越谷レイクタウン店(FC)	埼玉県越谷市	2026年5月	177(143)
甲府店	山梨県甲府市	2026年5月	178(144)
八尾店	大阪府八尾市	2026年6月	179(145)
新鎌ヶ谷店	千葉県鎌ヶ谷市	2026年6月	180(146)
東大阪店	大阪府東大阪市	2026年6月	181(147)
函館店	北海道函館市	2026年6月	182(148)
廿日市店(FC)	広島県廿日市市	2026年6月	183(148)
京都上桂店	京都府京都市西京区	2026年6月	184(149)
屋島店	香川県高松市	2026年6月	185(150)
葵店	愛知県名古屋市東区	2026年6月	186(151)

既存店の改装 今後の予定

店舗名	所在地	ブース数の増設
久留米店	福岡県	ブース：3台 → 7台…済み
府中店	東京都	ブース内で洗車ができるよう効率化…済み
佐倉店	千葉県	ブース：4台 → 9台
水戸内原店	茨城県	ブース：4台 → 7台
八柱店	千葉県	ブース：5台 → 9台
世田谷店	東京都	全面改装:モビリティベース化 ブース：8台 → 20台

【キーパー製品等関連事業】

キーパー製品等関連事業の売上高は82億27百万円（前年同期比4.4%増加）となりました。

キーパー製品等関連事業の売上構成比

	単位：百万円	2025年6月期	構成比	2026年6月期	構成比	前年比
		Q3累計	(%)	Q3累計	(%)	(%)
売上	製品等関連事業	7,884	—	8,227	—	104.4
	アフターマーケット	4,844	61.4	4,971	60.4	102.6
	新車マーケット	2,377	30.1	2,950	35.9	124.1
	海外	71	0.9	60	0.7	84.5
	車以外	592	7.5	245	3.0	41.4

ガソリンスタンドを中心とした、「アフターマーケット」では、前年同期比2.6%増加の進捗にとどまりました。昨年の11月に、新商品「ダイヤⅡキーパー」の発売によって、需要回復の動きが見られておりましたが、第3四半期中におきました、中東情勢の緊迫化による燃料油価格の高騰によって、個人消費の節約志向が強まり、来店客数が減少とともに、燃料以外のコーティングや洗車などは買い控えが起きました。

しかし、このように、第3四半期期間中は、外部環境による影響は、時が解決する事であり、引き続き、アフターマーケットでの「ダイヤⅡキーパー」に需要は確実に広がっております。

新車ディーラーを中心とした、新車マーケットでは、前年同期比24.1%増加となり、構成比が前期30.1%から35.9%へと伸ばしました。

EXキーパーが純正採用されている、スバル、ボルボ、メルセデス・ベンツの施工台数が、大きな進捗をしております。今まで取扱いのあるコーティングと違い、「新車でも施工後の違いが分かる」「納車後のお客様のお車のキレイさが違う」など、新車ディーラー内でも、話題になり、営業スタッフが自信をもってお客様にご案内ができています。一方、4月以降の自動車税制改定に伴い、「環境性能割」が廃止される予定であることから、2～3月に納車予定であった車両が、4月以降へ変更される動きが見られます。その影響により、足元では新車納車台数が一時的に減少する状況となっております。

このマーケットにおいて、今後さらにKeePerコーティングを拡大させる為に、EXキーパーシリーズとして、「LXキーパー」を2026年2月より、新車ディーラー専売品として発売開始しました。価格帯は、Mサイズ（プリウス）で、約10万円と、お客様が新車購入時においては、中心的な価格帯のコーティングであり、今後の新車マーケットの中心的なコーティングになっていく事と見込んでおります。

また、2026年3月より、三菱自動車工業株式会社において、純正品としてKeePerコーティングの取扱いが開始しました。発売当初より順調に採用が進んでおり、今後のさらなる拡大を見込んでおります。

「車以外」のサービスは前年同期比58.6%減と大幅な減少となりました。

昨年同期間にモバイル端末用「Mobile KeePer（モバイルキーパー）」を一括納品した反動もありますが、店頭での販売数量が伸び悩む状況にあります。

その対策として、現場の販売体制を大きく見直し、立て直しを図りました。その後、現場との繋がりも出始め、同時に企業との直接の繋がりも生まれて一定の成果が現れ始めています。

海外展開については、台湾のキーパープロショップは昨年の3店舗から15店舗へと拡大しておりますが、それ以外の国においては減少しており、15.5%減となりました。引き続き、国内同様にKeePerLAB0店舗をどのように拡大させていくのが大きなポイントでもあり、体制も含め見直す必要性が出てきております。

その結果、セグメント利益は31億56百万円（同4.8%減）となりました。

売上の伸び率（4.4%増）より、利益の伸び率が低くなっているのは、2025年11月より発売開始したダイヤⅡキーパーのテレビCMを投下した事による、広告宣伝費の増加が主な要因です。

(2) 財政状態に関する説明

資産・負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ71億97百万円増加し、320億24百万円となりました。これは主として、現金及び預金が91億10百万円増加、投資有価証券が42億70百万円減少、有形固定資産が11億61百万円増加したこと等によるものです。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末に比べ12億48百万円増加し、80億32百万円となりました。これは主として、買掛金が74百万円増加、未払金が1億43百万円減少、資産除去債務が5億73百万円増加したこと等によるものです。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末に比べ59億49百万円増加し、239億91百万円となりました。これは主として利益剰余金が四半期純利益により76億31百万円増加した一方で、配当により16億37百万円減少したこと等によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年6月期(2025年7月1日～2026年6月30日)の業績予想につきましては、当第2四半期において投資有価証券売却益の特別利益を計上した結果、2025年6月期決算発表時に開示した業績予想を修正しています。

詳細は2026年2月16日開示の、「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年6月30日)	当第3四半期会計期間 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,172,742	13,283,073
受取手形	147,933	124,816
売掛金	1,766,891	1,995,724
商品	1,179,211	1,758,934
貯蔵品	118,784	114,849
前払費用	250,540	243,440
1年内回収予定の関係会社長期貸付金	5,538	17,811
その他	93,882	255,521
貸倒引当金	△199	△202
流動資産合計	7,735,326	17,793,969
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	6,889,207	7,855,040
構築物（純額）	391,439	387,812
機械及び装置（純額）	37,690	31,507
車両運搬具（純額）	40,934	46,191
工具、器具及び備品（純額）	258,187	259,911
土地	2,016,836	2,016,836
リース資産	301,283	361,064
建設仮勘定	146,714	285,007
有形固定資産合計	10,082,293	11,243,371
無形固定資産		
ソフトウェア	98,183	94,947
その他	57,490	60,187
無形固定資産合計	155,674	155,134
投資その他の資産		
投資有価証券	4,354,132	83,180
関係会社株式	71,339	71,339
長期前払費用	45,542	63,894
敷金及び保証金	690,392	730,391
建設協力金	301,283	361,064
保険積立金	11,460	11,460
関係会社長期貸付金	871,666	845,781
繰延税金資産	507,682	664,578
その他	17	10
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	6,853,510	2,831,692
固定資産合計	17,091,478	14,230,198
資産合計	24,826,804	32,024,167

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年6月30日)	当第3四半期会計期間 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	613,910	688,047
1年内返済予定の長期借入金	506,316	506,316
未払金	610,277	467,090
未払法人税等	1,571,185	2,510,209
未払費用	461,473	372,179
リース債務	25,379	29,143
賞与引当金	73,411	335,726
契約負債	258,592	227,230
その他	183,268	98,643
流動負債合計	4,303,815	5,234,585
固定負債		
長期借入金	943,105	563,368
退職給付引当金	558,236	617,383
役員退職慰労引当金	294,257	302,192
リース債務	275,903	331,921
資産除去債務	397,953	971,900
その他	11,387	11,344
固定負債合計	2,480,843	2,798,108
負債合計	6,784,658	8,032,694
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,347,557	1,347,557
資本剰余金	1,049,019	1,049,019
利益剰余金	17,755,720	23,749,948
自己株式	△2,165,002	△2,165,379
株主資本合計	17,987,294	23,981,145
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	54,851	10,327
評価・換算差額等合計	54,851	10,327
純資産合計	18,042,145	23,991,473
負債純資産合計	24,826,804	32,024,167

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2024年7月1日 至2025年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自2025年7月1日 至2026年3月31日)
売上高	17,242,026	18,253,250
売上原価	8,202,404	9,788,198
売上総利益	9,039,621	8,465,051
販売費及び一般管理費	3,669,443	4,185,999
営業利益	5,370,178	4,279,052
営業外収益		
受取利息	4,551	18,919
受取配当金	245	63,456
為替差益	20,745	-
受取手数料	1,721	1,819
その他	6,798	13,417
営業外収益合計	34,061	97,612
営業外費用		
支払利息	3,182	13,631
為替差損	-	59,974
特別退職金	33,600	-
その他	9,863	11,197
営業外費用合計	46,645	84,803
経常利益	5,357,594	4,291,860
特別利益		
固定資産売却益	2,236	566
投資有価証券売却益	-	6,762,757
特別利益合計	2,236	6,763,324
特別損失		
固定資産除売却損	106	1,526
特別損失合計	106	1,526
税引前四半期純利益	5,359,724	11,053,658
法人税、住民税及び事業税	1,794,162	3,558,886
法人税等調整額	△94,618	△136,929
法人税等合計	1,699,544	3,421,957
四半期純利益	3,660,180	7,631,701

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

(資産除去債務の見積りの変更)

当第3四半期会計期間において、当社営業所及び店舗の賃貸借契約に伴う原状回復義務として計上していた資産除去債務について、新たな情報を入手したことにより原状回復費用に関しての見積りの変更を行っております。

この見積りの変更による増加額を、変更前の資産除去債務残高へ546,004千円加算しております。

(セグメント情報等)

前第3四半期累計期間(自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期損益計算書 計上額
	キーパー製品等 関連事業	キーパーLABO 運営事業	計		
売上高					
札幌営業所	389,742	—	389,742	—	389,742
仙台営業所	847,524	—	847,524	—	847,524
東京営業所	1,740,353	—	1,740,353	—	1,740,353
横浜営業所	726,998	—	726,998	—	726,998
名古屋営業所	1,633,890	—	1,633,890	—	1,633,890
大阪営業所	805,202	—	805,202	—	805,202
広島営業所	754,994	—	754,994	—	754,994
福岡営業所	985,946	—	985,946	—	985,946
東日本	—	4,665,133	4,665,133	—	4,665,133
西日本	—	4,692,241	4,692,241	—	4,692,241
顧客との契約から生 じる収益	7,884,651	9,357,374	17,242,026	—	17,242,026
外部顧客への売上高	7,884,651	9,357,374	17,242,026	—	17,242,026
セグメント間の内部 売上高又は振替高	386,427	—	386,427	△386,427	—
計	8,271,078	9,357,374	17,628,453	△386,427	17,242,026
セグメント利益	3,316,962	2,053,215	5,370,178	—	5,370,178

(注) セグメント間の内部売上高は、キーパー製品等関連事業からキーパーLABO運営事業に対するものです。

当第3四半期累計期間(自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期損益計算書 計上額
	キーパー製品等 関連事業	キーパーLABO 運営事業	計		
売上高					
札幌営業所	382,311	—	382,311	—	382,311
仙台営業所	827,930	—	827,930	—	827,930
東京営業所	1,874,542	—	1,874,542	—	1,874,542
横浜営業所	759,192	—	759,192	—	759,192
名古屋営業所	1,870,911	—	1,870,911	—	1,870,911
大阪営業所	827,520	—	827,520	—	827,520
広島営業所	747,679	—	747,679	—	747,679
福岡営業所	937,141	—	937,141	—	937,141
東日本	—	4,934,761	4,934,761	—	4,934,761
西日本	—	5,091,264	5,091,264	—	5,091,264
顧客との契約から生 じる収益	8,227,226	10,026,025	18,253,251	—	18,253,251
外部顧客への売上高	8,227,226	10,026,025	18,253,251	—	18,253,251
セグメント間の内部 売上高又は振替高	484,357	—	484,357	△484,357	—
計	8,711,583	10,026,025	18,737,608	△484,357	18,253,251
セグメント利益	3,156,892	1,122,160	4,279,052	—	4,279,052

(注) セグメント間の内部売上高は、キーパー製品等関連事業からキーパーLABO運営事業に対するものです。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)
減価償却費	400,110千円	529,640千円

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。